

平成 30 年度第 3 回研修委員会実務班議事録

日 時：平成 30 年 10 月 2 日（火）14：00～16：00

会 場：米子コンベンションセンターBiG SHiP 3階 第2会議室

参加者：佐藤委員長、梅津副会長、内田委員、白井委員、吉住委員、中島委員、前原委員、古澤氏（砂田委員の代理）、大住

<内容>

1. 地域リハ塾について（地域リハ推進委員会と合同会議）

● 齊藤会長より

- ◇ 新たらしい取り組みとして、地域リハ塾の開講を進めていきたい。
- ◇ 今年度は、塾を運営するスタッフの育成を行い（助走期）、来年度からの塾の運営を話し合っていた。
- ◇ 今年度の地域リハ塾は、全 6 回×2 日間のコースで開催する。
- ◇ マインドをお伝えいただき、その後グループワークにて、何をどう啓発していくのかを話し合ってもら。
- ◇ 地域リハ推進委員会と、研修委員会の合同で運営していく。
- ◇ そのため、本日の合同委員会を開催する運びとなった。

● 岡野事務局長より

- ◇ 毎月 1 回の土・日の二日間をかけて、全 6 回開催する。
 - 1 日目：初日に 3 時間程度の講義
講師と塾生とのディスカッション
夜は講師の先生を囲んで懇親会を実施
 - 2 日目：塾生のみでグループワーク
- ◇ 全 6 回の日程と講師は、以下の通り。
 - 第 1 回：平成 30 年 10 月 27 日・28 日 浜村先生
 - 第 2 回：平成 30 年 11 月 17 日・18 日 澤村先生
 - 第 3 回：平成 30 年 12 月 1 日・2 日 石川先生
 - 第 4 回：平成 31 年 1 月 26 日・27 日 大田先生
 - 第 5 回：平成 31 年 2 月 9 日・10 日 栗原先生
 - 第 6 回：平成 31 年 3 月 16 日・17 日 齊藤会長
- ◇ 来年度、地域リハを啓発する事業の運営が、塾生のミッションとなる。
- ◇ 塾生は、理事施設から募集（最大 40 名程度）する。各施設 1 名まで。現在の申し込み状況は、27 名。
- ◇ 地域リハ塾のサポートスタッフ（お手伝い）については参加費を取らないが、旅費は自己負担となる。サポート人数は多くはならない。今後、それぞれの委員会

の中で調整をお願いしたい。

- ◇ 理事の先生もオブザーバーとして参加可能だが、参加費は1万円。
- ◇ 2日目のコーディネーター（調整役）は、霞ヶ関南病院の岡持利亘氏が務めることに常務理事会で決定となった。
- 澤村先生より
 - ◇ 私の地域リハを話せばいいのですよね。
- 斉藤会長より
 - ◇ そうです。各講師好きに、自分の地域リハをお話してもらえれば。
- 松坂先生より
 - ◇ 長崎の場合も以前塾を開催していたが、その際は宿題が課せ、受講生にはレポートの提出してもらっていた。
- 斉藤会長より
 - ◇ 本題は、次年度。今年度育成した塾生は、各理事施設から選抜されたスタッフなので、その人たちの力で、地域リハを全国展開していく方法を考えてほしい。
 - ◇ まずは、講師の先生の思いを受け止めるための、塾生のためのグループワーク。
 - ◇ 6回目の地域リハ塾で、次年度こうしようという方法を決められればと考えている。
 - ◇ 塾生同志が話し合いを重ね、生み出して行ってほしい
- 篠山先生
 - ◇ 塾生が中心となって進めていくということがわかり、実際にサポートに入るスタッフの人数としては、3・4人と受け止めた。
 - ◇ 今年度の地域リハ塾の日程は決まったので、各委員会にどのくらい出せるかを回答いただくと良いと思う。
- 岡野事務局長
 - ◇ 講師の先生は基本的には1日目のみの参加。しかし、講義後も講師の先生と懇親会を通じてディスカッションできる時間が設けてあるので、しっかりマインドを受け取る時間があると考えます。
- 大井先生
 - ◇ 現時点の申し込みメンバーの構成は？
- 岡野事務局長
 - ◇ ほとんどがPT。医師1、OT1、MSW1。
- 大井先生
 - 院内でも出たい人は色々いたが、将来のリハ部長ということを考えて人選した。
- 斉藤会長より
 - 塾生の職種は限定しないし、マインドを伝えていくのにあまり職種は関係ないかと考えている。

- 各委員会には、全6回の塾の中で、サポートできる人数把握をお願いしたい（委員会ごとに2名程度）。
- これだけ災害が増えてきていると、地域リハは重要となる。
- その時に重要になるのは、その地域のリーダーではないか。
- 浜村先生より
 - しゃべる方も、塾生も大変だと思う。
 - 私の場合は、澤村先生の指導を仰ぎながら、長崎の地で地域リハ活動を実践してきた。
 - それぞれの先生から、それぞれのリハマインド（どんな思いで地域リハに取り組んできたか）がお話されるのではないか。
 - ものをつくっていくには、マネジメントの技術（地域住民の主体性を引き出し、その気にさせて、地域・まちづくりをしていくか）が必要となる。そうすると、病院の中でのマネジメントができなければいけないが、それだけではダメで仲間と一緒に地域に出ていくという動きができるか。
 - 地域をいかにマネジメントしていくか。地域もそれぞれ違うし、アプローチ方法も異なる。
 - そして、地域とネットワークを築くには、コミュニケーション力が重要。いま、コミュニケーション力が昔に比べると弱い気がする。体ごと付き合うような感じがしない気がする。
 - 地域づくりのポイントは、
 - ① リハマインド
 - ② マネジメント力
 - ③ コミュニケーション力 → ネットワークづくり
 - ④ 組織活動 → 一人ではなく、みんなでやるために
 - 地域づくりは、自分がやっていく、次に自分の組織がどう地域づくりに取り組めるかを整理し、組織でやっていくという大きなミッションである。
 - 塾生の中でも、地域リハ活動を実践しているかどうかで、大きな違いが出てくるのではないかとも思う。
 - 技術の伝達ではない、考え方だけでもない。どうプロダクトしていくか。
 - 地域リハ塾に対してノウハウを求めて参加したとすると、厳しいものになると推察する。
 - 頭で考えているだけではダメで、実践しなければ、地域リハではないとも言える。
- 斉藤会長より
 - 塾生が「えい、やー」と動き出して見て、進めていく中で修正してくこともあるかと思う。
- 浜村先生より

- 先駆者の生き様がでる。物を作ってきた6人の先生の経験を参考に、各々が実践してほしい。
- 毎回、塾生は苦しむかもしれない。
- 斉藤会長より
 - 苦しみながら、何かを生み出してほしい。失敗する可能性も大いに考えられるが、次世代を担う地域リハ塾の塾生に期待し、任せることを承認いただきたい。

<決定事項>

→ 塾生に全て任せ、次年度の地域リハ啓発活動の全国展開をミッションとする。

2. 地域リハ塾のサポートについて

(この議題から、研修委員会実務班会議。オブザーバーとして梅津副会長参加)

- 佐藤委員長より
 - 実務班委員の皆さんには、1回は地域リハ塾のサポートスタッフとして参加してほしい。2日通して参加。懇親会の準備を事務局からも依頼されている。
 - サポートスタッフの参加可否については、大住が取りまとめを行う。
「みなさんにメールを差し上げますので、回答をお願いします。」

2. 事務職研修会について

➤ 管理職研修

2019年2月15日(金)10時から17時。定員50名。

場所は、協会事務所(神田)。

参加費1万円。

開会の挨拶は、佐藤委員長。

テーマは、リハ病院・施設における「人にかかる費用のマネジメントを考える」

講師は、小山秀夫先生。

事例発表3施設と、グループワーク。

本日より協会ホームページにアップし、広報・参加者を募集していく。

<検討事項>

◇ 運営方法

- 5名程度(霞ヶ関南病院から2名、佐藤委員長、白石委員、+事務局より事務員の方のサポートを得られれば)

◇ 事例発表施設の選定 → 今後検討

◇ 参加者の事前アンケートの内容の検討(参加者に還元する)

- これまでの事前アンケートを参考に、事務系の委員で検討する。

◇ 参加後の研修会についてのアンケートの作成

- 事前アンケートと同様、事務系の委員で検討する。

- 初任者研修
第1回の研修場所は、小倉リハビリテーション病院で開催予定。
日程は未定 → 今後検討
内容は、
 - ◇ 10時30分スタート。
 - ◇ 講演「リハ病院施設の管理者として事務に思うこと」
 - ◇ 午後、施設見学し、その後グループワーク。自分の課題と目標を考える
 - ◇ 20～30名程度の定員で、参加費1万円。
 - ◇ 参加しやすさを考慮し、金・土の日程度考えている。次回の常任理事会（12/14）で、具体的な案を委員長より提示予定。
→ それまでに詳細を固められるよう、検討を続ける
当日の運営スタッフとしては、九州方面の委員の方の協力を得たい。

3. 平成30年度リハビリテーション研修会について

- 主題は、「地域医療構想におけるリハビリテーション病院・施設の役割と報酬改定の活用」に決定
- 近々に、チラシの作成（事務局で担当）
 1. 松田晋哉先生（承諾）：地域医療構想のお話
 2. 若林秀隆理事（承諾）：リハ栄養と報酬改定の話（案）
 3. 斉藤正身会長：今後にむけてのお話
- 12月15日（土）東京駅
- 運営の手伝い（受付と接待とPC関係）は、甲州リハと霞ヶ関南病院で対応。
まず霞ヶ関南病院でスタッフを出し、不足分を甲州リハから出す。

4. その他

● 第2回全国研修会

- 2019年3月9日（土）
- 午前に臨時総会
- 午後は江澤先生（介護領域）、松本先生（医療領域）の講演を予定。
- 日程・講師ともに最終決定ではないが、この方向で調整していく。

● 定時総会、設立30周年の祝賀会

- 2019年5月17日（金）
- 田中滋先生の講演をお願いする予定

（書記：大住雅紀 2018年10月9日）